



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長 (氏名) 大滝 正彦
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,961	10.5	404	86.6	390	90.7	223	95.9
23年3月期第2四半期	2,680	22.5	216	230.1	204	184.8	114	214.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 219百万円 (110.9%) 23年3月期第2四半期 104百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	38.39	—
23年3月期第2四半期	19.45	19.38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	8,510		4,489		52.7
23年3月期	8,550		4,357		51.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,489百万円 23年3月期 4,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	2.8	890	2.0	870	6.0	490	△2.4	84.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,270,000 株	23年3月期	6,270,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	442,753 株	23年3月期	441,953 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,827,790 株	23年3月期2Q	5,870,697 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから順調に回復を遂げてきましたが、欧米を中心とする海外経済の減速懸念の浮上、円高の進行等により、先行き不透明感を払拭できない状況が続きました。

こうした状況の中、当社グループの主要ユーザーであります製造業の設備投資は堅調に回復しつつあり、従来からの強み製品を中心に、前期以降発表発売した新製品も加え、拡販に鋭意取り組みました。また、継続的な効果・効率改善、原価・経費低減等を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期における連結売上高は2,961百万円(前年同期比10.5%増)、損益面では経常利益390百万円(前年同期比90.7%増)、四半期純利益223百万円(前年同期比95.9%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期における営業の分野別状況は、次の通りであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、LCRメータ ZM2410、インピーダンスアナライザ ZA5403/ZA5405、インピーダンス/ゲイン・フェーズアナライザ ZGA5920、デジタルマルチメータ DM2561を上市し、積極的な販売活動を展開いたしました。強み製品である周波数特性分析器やLCRメータ等が堅調に推移しましたが、一般的に需要面の力強さに欠け低迷しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は542百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、プログラマブル交流電源が特に産業機器市場、家電・情報機器市場で堅調に推移しました。また、保護リレー試験機が電力関連市場において、電力増幅器が自動車関連市場、大学・研究機関等において堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,284百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、各種電池評価システム、系統連系関連装置等が特に産業機器市場、社会インフラ市場、大学・研究機関等において堅調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は452百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにしたカスタム製品が主で、鉄道市場向けフィルタ、電力関連市場・産業機器市場向けの電子部品を中心に、総じて堅調に推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は506百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、カスタム応用機器に組み込まれる商品の売上と修理・校正が主なものです。

その他分野の売上高は174百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報
(資産、負債、純資産)

当第2四半期末の総資産は現金及び預金、棚卸資産、固定資産が増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度と比較して39百万円減少し、8,510百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、171百万円減少し4,021百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、132百万円増加し4,489百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、558百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは325百万円の増加となりました。

これは、棚卸資産の増加346百万円、仕入債務の減少165百万円、法人税等の支払413百万円などにより減少したものの、税金等調整前当期純利益390百万円、減価償却費116百万円、売上債権の減少836百万円、などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは532百万円の減少となりました。

これは、定期預金の預入による支出400百万円、固定資産の取得による支出132百万円などにより減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは130百万円の増加となりました。

これは、配当金の支払87百万円、社債の償還62百万円などにより減少したものの、長期借入金による収入300百万円などにより増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、東日本大震災等によるショックからの回復持続が予想される一方、海外経済の先行き不安、円高水準の定着に加え、タイにおける洪水に伴う日系企業の被害拡大等懸念材料も多く、当社グループを取り巻く環境は今後も予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、製品の拡販、原価・経費低減等を強力に推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図っており、販売面では展示会等での商品PRや製品別の技術セミナーを積極的に展開し、製品の拡販を推進してまいります。また、環境エネルギー関連に注力する等、お客様へのソリューション活動を強力に展開し、所期の業績の実現を目指してまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,436	2,680,411
受取手形及び売掛金	2,626,201	1,789,868
商品及び製品	293,412	460,700
仕掛品	471,358	565,332
原材料	473,608	558,524
その他	305,155	346,033
貸倒引当金	△43,021	△33,097
流動資産合計	6,483,151	6,367,774
固定資産		
有形固定資産		
土地	963,185	963,185
その他(純額)	636,191	731,736
有形固定資産合計	1,599,376	1,694,921
無形固定資産	172,785	169,062
投資その他の資産	294,738	278,343
固定資産合計	2,066,901	2,142,327
資産合計	8,550,052	8,510,101
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,339	625,842
短期借入金	14,400	14,400
未払法人税等	423,018	195,843
賞与引当金	246,414	240,007
役員賞与引当金	33,195	—
受注損失引当金	—	33,712
災害損失引当金	24,230	17,430
その他	670,296	704,717
流動負債合計	2,202,894	1,831,952
固定負債		
社債	1,315,000	1,252,500
長期借入金	253,200	546,000
退職給付引当金	137,472	128,476
長期未払金	117,150	98,988
その他	167,288	163,115
固定負債合計	1,990,111	2,189,079
負債合計	4,193,005	4,021,032

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	2,453,575	2,589,867
自己株式	△195,414	△195,815
株主資本合計	4,345,660	4,481,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,386	7,516
その他の包括利益累計額合計	11,386	7,516
純資産合計	4,357,046	4,489,069
負債純資産合計	8,550,052	8,510,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,680,503	2,961,716
売上原価	1,634,238	1,759,373
売上総利益	1,046,265	1,202,343
販売費及び一般管理費	829,403	797,600
営業利益	216,861	404,743
営業外収益		
受取利息	1,052	362
受取配当金	1,905	2,874
助成金収入	3,300	—
部品売却益	—	1,537
その他	4,086	5,679
営業外収益合計	10,344	10,453
営業外費用		
支払利息	15,763	17,409
売上割引	3,433	3,887
その他	3,471	3,898
営業外費用合計	22,668	25,195
経常利益	204,537	390,001
特別利益		
固定資産売却益	—	648
投資有価証券売却益	770	—
特別利益合計	770	648
特別損失		
固定資産除却損	208	15
特別損失合計	208	15
税金等調整前四半期純利益	205,098	390,634
法人税、住民税及び事業税	123,155	185,780
法人税等調整額	△32,255	△18,858
法人税等合計	90,900	166,921
四半期純利益	114,198	223,712

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益	114,198	223,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,936	△3,869
その他の包括利益合計	△9,936	△3,869
四半期包括利益	104,261	219,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,261	219,843
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	205,098	390,634
減価償却費	120,193	116,289
株式報酬費用	39,100	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△9,924
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	33,712
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△6,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,766	△6,407
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,250	△33,195
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,397	△8,996
受取利息及び受取配当金	△2,957	△3,237
支払利息	15,763	17,409
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△648
有形固定資産除却損	208	15
投資有価証券売却損益(△は益)	△770	—
長期未払金の増減額(△は減少)	8,455	△18,162
売上債権の増減額(△は増加)	44,525	836,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	△353,374	△346,177
仕入債務の増減額(△は減少)	147,395	△165,497
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,002	△42,255
その他	25,911	3,887
小計	219,666	756,655
利息及び配当金の受取額	2,957	3,237
利息の支払額	△18,309	△20,335
法人税等の支払額	△75,821	△413,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,493	325,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△400,000
有形固定資産の取得による支出	△23,764	△76,703
有形固定資産の売却による収入	—	680
無形固定資産の取得による支出	△23,397	△56,187
投資有価証券の売却による収入	1,920	—
その他の支出	△309	△642
その他の収入	1,993	323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,558	△532,530

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	56	—
リース債務の返済による支出	△16,258	△11,941
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△23,800	△7,200
社債の償還による支出	△122,500	△62,500
自己株式の取得による支出	△104,502	△400
配当金の支払額	△77,751	△87,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344,755	130,934
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△259,820	△76,024
現金及び現金同等物の期首残高	499,832	634,197
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,012	558,172

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。